

実現に向けて

旧八千代台東第二小学校跡地活用に係る想定スケジュール

年度	主な内容
平成30年(2018年度)	旧八千代台東第二小学校跡地整備基本計画
平成31年(2019年度)	// 跡地整備基本設計(地質調査・施設配置の見直し) 新たな施設に係る運営管理の検討
平成32年(2020年度)	// 校舎等解体工事 // 跡地整備実施設計 新たな施設に係る運営管理の検討
平成33年(2021年度)	// 跡地整備工事 新たな施設に係る運営管理の検討
平成34年(2022年度)	供用開始

新たな施設の立体イメージ(制作:日本大学理工学部まちづくり工学科岡田研究室 天海拓生)



第5回WSプログラム
平成31年3月2日(土)10:00~15:00
【場所】旧八千代台東第二小学校

1. 開会
◇八千代市長挨拶
2. 八千代台東町会挨拶
3. 日本大学岡田教授挨拶
4. 施設の位置及び大きさの確認
◇導入予定施設の説明
◇地縄張りによる位置及び大きさの確認
5. BBQ実証実験
◇BBQ実施
◇煙・臭い・騒音の調査
6. 閉会

八千代台東第二小学校利活用プロジェクト*による「第5回八千代台東第二小学校利活用ワークショップ(以下:WS)」が平成31年3月2日(土)に開催されました。

今年度最後となる第5回WSでは、地域・専門家・行政の3者で協議を重ね、検討してきた跡地活用案について、その導入予定施設の位置や大きさを現地で確認すること、また、実証実験として、BBQ場においてBBQを実際に行い、煙・臭い・騒音を調査しました。

今回のプロジェクトでは、様々な法的制約がある中で、人口減少・少子高齢化が進んでいる八千代台東地区の防災対策や地域の活性化について知恵を出し合い、跡地の活用案がまとまりました。

次年度は、これまで検討してきた内容について、必要な調整を行いながら、実現に向けた設計に入る予定です。

最後に、このプロジェクトの実現及び成功を祈るとともに、関係した全ての皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

*八千代台東第二小学校利活用プロジェクトの趣旨

◆プロジェクト実施の背景

わが国では人口減少社会に突入し、地域経済の維持や人口減少問題の克服といった、新たな社会・都市問題に直面したことを背景に、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。これを受け、八千代市では平成28年3月に「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「絆(つな)がる・創る“和”のまち八千代」を基本理念に掲げ、その実現方策として「八千代台まちづくりプロジェクト」を展開しました。その延長として、平成26年度末をもって学校施設としての役割を終えた東二小の利活用策を検討する、「八千代台東第二小学校利活用プロジェクト」を発足しました。



◆ワークショップの開催結果

<p>【第1回】 6月18日(土)15時~ 【場所】八千代台東町会館 ◎プロジェクトの「前条件」を共有 ◎コミュニケーションを図るための簡単な意見交換</p> <p>済</p>	<p>【第2回】 7月14日(土)14時~ 【場所】八千代台東町会館 ◎グループ相互での意見交換を通して共通事項を導く</p> <p>済</p>	<p>【第3回】 9月8日(土)13時~ 【場所】八千代台東町会館 ◎施設プランの検討 ◎ゾーニングプラン</p> <p>済</p>	<p>【第4回】 11月3日(土)13時~ 【場所】八千代台東町会館 ◎ゾーニングプランの確認 ◎基本方針の策定 ◎第5回目のイベント検討</p> <p>済</p>	<p>【第5回】 3月2日(土) 【場所】旧八千代台東第二小学校 ◎基本方針の実現可能性調査 ◎地元の連帯感を高めるためのイベント実施</p> <p>済</p>
--	--	--	--	--

◇お問い合わせ先◇

八千代市 総務企画部 総合企画課
電話:047-483-1151
E-Mail: seisaku1@city.yachiyo.chiba.jp
発行者:日本大学理工学部まちづくり工学科岡田研究室
発行日:平成31年3月14日(木)

制作:日本大学理工学部岡田研究室/協力:八千代市まちづくりマネージャー



第5回ワークショップ開催!!



服部友則八千代市長 挨拶
服部市長より、次年度以降の取組みと、検討に関係した方々への御礼



崎村知生八千代台東町会長 挨拶
崎村会長より、八千代台東地区を代表した地域活性化の思いと関係者への御礼



岡田智秀日本大学理工学部教授 挨拶
岡田教授より、「八千代台東第二小学校活用プロジェクト」の総括

導入予定施設の大きさ及び位置の確認



三上満八千代台東町会総務広報部長
三上部長より、導入予定施設の目的・配置の説明

歩いて再認識
見晴台周辺も広いスペース



地縄を張ると想像と違う大きさに・・・
施設同士が近く感じました

施設配置図(案)

～多様な世代・多様な利用者が満足できる空間～

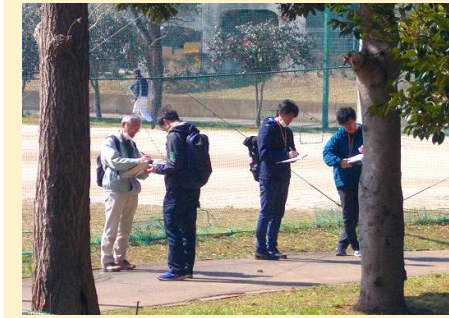
平時：地域住民の憩い・交流の場、地域の魅力発信の場、地域活性化につながるイベントスペース

災害時：一時避難場所、応急仮設住宅用地、ペット避難場所など地域の防災拠点となる施設



BBQ実証実験

参加者約70名、BBQコンロ8台により、実証実験を行いました。



BBQ場の影響を調査しました。
調査結果の概要は下図のとおり

調査結果の概要

臭い：風下では臭いを感じるものの、不快感は感じなかった。
騒音：風向きによっては少し聞こえるものの、騒音とを感じるものではなかった。
煙：火力は木炭を使用。ほとんど影響は見られなかった。
※ 住宅地への影響の低減について、樹木等の配置の検討が必要か

